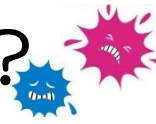




ワクチンとは？



「免疫」とは細菌やウイルスから体を守ってくれている防御システムのことです。

◇ ワクチンの仕組みは？

感染症などの原因となる細菌やウイルスの一部を体内に入れて、あらかじめ体に記憶させることで「免疫」がすばやく反応して細菌やウイルスを攻撃し、発症を抑えたり発症しても症状を軽くするなどの効果があります。

◇ ワクチンにはどんな種類があるの？

種類	原材料（製造方法）	ワクチンの例
生ワクチン	毒性を弱めた生きたウイルスや細菌	麻疹、風疹、おたふくかぜ 水痘ワクチン
不活化ワクチン	毒性や感染力をなくしたウイルスや細菌	インフルエンザ、B型肝炎 日本脳炎
トキソイド	細菌やウイルスの毒性の形を原材料に作られています。	ジフテリア、破傷風
mRNA ワクチン DNA ワクチン ウイルスベクターワクチン	ウイルスの設計図である遺伝子を原材料として作られています。	新型コロナウイルス

◇ ワクチンの副反応って？

免疫を作るときの反応が強くなってしまふことで、接種部の痛みや腫れ、発熱、体のだるさなどの症状が出る場合があります。この反応の強さには個人差がありますが、ほとんどの場合が軽症で症状の重症化は極めてまれです。

副反応のリスクを抑えるためには…

十分な睡眠や栄養をとり、体調を整えて接種を受けましょう！

◇ ワクチンの2つの役割

「**個人を守る**」 → 自身の発症を抑えたり症状を軽くします。

「**社会を守る**」 → より多くの方がワクチン接種を受けることで感染拡大を防ぐことができ、さらにはワクチン接種をすることができない人を守ることもつながります。